

<資料3>

令和3年度 藤枝市行政サービス評価委員会

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

藤枝市

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

①コンパクト+ネットワークなまちを創る

数値目標	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
中心市街地区域内の居住人口	11,180人	10,963人	11,045人	100.7%	分譲マンションや戸建住宅の供給など民間投資により居住人口の増加に繋がっている。今後は、居住場所であるハード整備とニーズに合わせた各種イベントの開催によるソフト事業を充実させ、住む場所としてのブランド力向上へ繋げる。
中山間地域における交流人口	343,000人	315,000人	192,743人	61.9%	各施設では、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響による休業期間があり、再開後も県内在住者のみに利用を制限しているため、利用者が激減した。コロナ禍においても集客につながる事業を推進し、情報発信に努める。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
1	中心市街地区域内の従業者数	1,470人	1,402人	1,442人	102.8%	中心市街地活性化基本計画の主要事業を中心とした活性化事業の推進や駅前地区市街地総合再生基本計画に基づく市街地再開発事業等の取り組みにより、従業者数のさらなる増加を図る。
2	中心市街地区域内のイベント来場者数	62,000人	57,917人	880人	1.5%	新型コロナウイルス感染症対策緊急事態宣言発出等による本市対処方針に基づくイベントの中止・縮小、不要不急の外出を控える要請が目標未達成となった。今後は、アフターコロナを見据えて出店意欲のある店舗等と連携し、コロナ禍における新しい生活様式に即したイベントを開催し、中心市街地の賑わい創出を図る。
3	産業用地確保面積 【R2年度より累計】	5ha	-	-	-	IC周辺新産業地ゾーン、工業系低未利用地などの開発可能性、新たな工業用地の確保に向けた検討を行う。
4	中山間地域における移住支援策を活用した市外からの移住者数 【H23年度より累計】	128人	84人	78人	92.8%	市のオンライン相談会に加えて、課独自でのオンライン相談会を実施する。また、感染対策に注意しながら、首都圏等の県外からの移住希望者を移住・定住に繋げていく。
5	田舎暮らし体験施設等の利用者数 【H28年度より累計】	9,500人	5,500人	5,115人	93.0%	助宗ひだまり倶楽部等が行う滞在型余暇活動（農業体験プログラム等）を提供する事業に対し、補助を交付。団体が行う事業について広く市民へ周知するための支援を行うとともに、新たな参加者を受け入れていく。
6	蓮華寺池公園への年間入込客数	170万人	158万人	89万人	56.3%	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う政府の方針を受け、蓮華寺池公園の集客が一番見込まれる4月下旬から5月上旬まで第1・第2駐車場を閉鎖し、また、毎年恒例の桜まつりや藤まつりが中止となったため、来園者数は大幅に減少した。今後コロナ収束を見据え、蓮華寺池公園のさらなる魅力アップを実現するため、再整備計画に基づく施設整備の推進や、四季を通じた花の情報発信等により、来園の動機づけにつなげる。 また、旧藤枝製茶貿易商館の整備に伴い、新たな地域資源を活用した誘客に努めるとともに、岡出山公園との回遊性が生まれる仕組みづくりを検討する。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
7	協働で元気なまちづくり事業実施数	75人	75	61	81.3%	地域で実施した活動を自治会長や町内会長に紹介し、交通安全や子どもの見守り活動などに繋がっているため、引き続き地域住民の発案による課題解決や魅力発信のため地区交流センターが拠点となって支援を行っていく。 ①地域元気創造事業 ②安全安心事業③先進的地域活動支援事業④課題解決対応事業
8	広域幹線道路(主要3路線)の平均通行時間	13.3分	13.9分	14.6分	95.2%	通勤時間帯の広域幹線道路の渋滞状況を把握し、事業中路線の効果的な事業展開や国・県との連携強化による事業推進などを図っていく。
9	生活道路の整備率(幅員4m以上)	68.6%	67.8%	67.8%	100.0%	地元からの要望に基づき作成した整備計画を遅れることなく実施する。また、事業進捗を図るため、財源確保とコスト縮減を考慮した設計を行う必要がある。
10	路線バスと乗合タクシーの利用者数	1407千人	1407千人	939千人	66.7%	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、リモートワークやオンライン授業、休校の外出制限等がとられたことで、公共交通の利用が激減し、目標数値を大幅に下回った。 感染症対策により、安心して利用できるよう、引き続き支援するとともに、そのPRも積極的に実施していく。 また、観光政策や市のイベント等のPRと併せて公共交通の利用促進のPRを推進する。
11	中心市街地の歩行者通行量	10,820人	9,723人	6,736人	69.2%	新型コロナウイルス感染症対策緊急事態宣言発出等による本市対処方針に基づくイベントの中止・縮小、不要不急の外出を控える要請が目標未達成となった。今後は、駅前地区市街地総合再生基本計画に基づく市街地再開発事業や中心市街地周辺地域と連動した取り組みにより、歩行者通行量のさらなる増加を図る。
12	花回廊事業で活動した団体数	330団体	317団体	325団体	102.5%	花と緑あふれる都市空間を創出するため、花にまつわる情報発信を行い、花を育てる新たな緑化団体の掘り起こしを行う。 また、緑化団体の持続性を確保するため、当該団体が行う植栽活動をサポートする取組を検討する。
13	藤枝駅周辺の景観に対する好感度	80.0%	65.0%	64.0%	98.4%	更なる魅力向上や景観資源の保全を図り、地区に対する愛着を増大させることを目的とした景観形成重点地区指定に向け、地元団体と協働して検討を進める。 商店街にハンギングバスケットやプランターを設置し、緑ある街並みを推進する。
14	助成支援による空き家解消件数【H30年度より累計】	550件	226件	320件	141.5%	補助制度創設以降、補助活用件数の増加に伴い空き家解消件数も増加している。今後は、さらに増加して行くことを想定し予算を確保していく。
15	市全体のCO ₂ の排出量	847.5千t	915.6千t	904.1千t	101.2%	事業者による再生可能エネルギーの導入と省エネルギー活動を推進するため、普及啓発や取組支援を強化する。 公共施設への再生可能エネルギー設備の設置については、施設のアセットマネジメントと協調して実施していく。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
16	家庭から排出される燃やすごみ 市民1人1日あたりの排出量	401g	405g	414g	97.8%	①ごみ減量資源化説明会を効果的に行うため、違反ごみや排出量が多い地区で開催し、住民意識を高める ②生ごみ処理機やディスポーザーの補助制度を周知し、導入促進を図る
17	生ごみ分別回収量	1,890t	1,080t	967t	89.5%	①ごみ減量資源化説明会を効果的に行うため、違反ごみや排出量が多い地区で開催し、住民意識を高める ②生ごみ処理機やディスポーザーの補助制度を周知し、導入促進を図る
18	コンビニエコバック利用者数 【R2年度より累計】	300人	100人	580人	580.0%	容器包装リサイクル法によるレジ袋有料化により、実績値は目標を大きく上回った。今後、追加の縫製は改めて業者との協議となる。このため、オリジナルエコバックの安定供給及び販売店の拡大について検討を進める。
19	災害時情報配信システム登録人数	9,000人	8,000人	9,138人	114.2%	実績値は目標値を大きく上回る結果となった。今後も情報提供する内容を精査し、住民のニーズに応じた情報配信システムを目指す。
20	緊急時に優先的に交通確保 が必要な橋梁の耐震化率 【H27年度より累計】	100%	64%	64%	100.0%	計画通り執行することができた。財源についてはR2年度から補助化されたため、当面は安定した内示率を得ることができると思われるが、事業の円滑な執行に向け、河川管理者との協議や地元調整等を積極的に進めていく。
21	耐震性が劣る住宅数	3,200戸	5,325戸	4,218戸	126.2%	実績値は目標値を上回る結果となった。木造住宅耐震補強計画補強工事業、木造住宅耐震補強工事業の在宅避難割増を全世帯を対象に拡大し、住宅の耐震化を促進する。
22	マイ・タイムライン研修会に参加した 住民のマイ・タイムライン作成率	100%	2.4%	2.4%	100%	計画通り執行することができた。今後も計画に沿って研修会を実施し、更なる事業の推進を目指す。
23	藤枝市水位・雨量観測システム 閲覧件数	10,000件	3,600件	11,037件	306.6%	更に利用しやすい、わかりやすい、見やすいホームページへの更新(改定)により、閲覧件数の増加を目指す。
24	防災訓練に参加した市民の割合	30.5%	29.3%	52.9%	180.5%	夏の総合防災訓練については三密を回避するため、各自主防災会での集まった訓練は行わず、「わが家の防災対策リーフレット」を活用した家庭内訓練に変更し実施できた。しかし、冬の地域防災訓練は新型コロナウイルスの影響で中止となった。コロナ禍での訓練内容について検討を進める。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
25	高齢者の人身交通事故発生件数	205件	252件	218件	115.5%	実績値は目標値を上回る結果となった。 一方で、依然として年齢別事故当事者件数は高齢者が一番多く、全体の26%を超えることから、高齢者に対する交通事故対策の継続と強化の推進を図る。
26	高齢者の運転免許証自主返納者数	850件	650件	813件	125.0%	実績値は目標値を上回る結果となった。 事故防止のための早期返納奨励と支援事業のPRに一層つとめ、返納後も安全に、安心して移動が楽しめる代替手段等の周知を図る。
27	登下校時における小学生・中学生の交通事故発生件数	0件	0件	12件	0.0%	小学生5件、中学生7件、計12件の事故が発生した。今後も0件の目標に向け、交通安全指導員、教育委員会等と連携し、見守りの継続、より分かりやすい交通安全教室の実施に取り組んでいく。(※12件の小学校・中学校の内訳を記載願います)
28	人身交通事故発生件数	825件	925件	829件	111.5%	実績値は目標値を上回る結果となった。 一方で死亡事故が4件発生しており、引き続き人身事故発生防止に向け、引き続き、啓発活動を継続する。

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

②産業としごとを創る

数値目標	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
創業者数(第1期は創業支援件数で管理) 【H27年度より累計】	1,090件	620件	581件	93.7%	コロナ禍により起業時期を見送る人があるため、エフドアや支援機関と連携し、創業者への寄り添った個別相談を充実させ、起業しやすい環境を作る。
市税収入額	106%	102%	73.5%	72.0%	法人税割の税率が下がったため。今後もコロナ禍の収束が見えないため、引き続き産学官金が連携し、事業継続に向けた伴走型支援を強化していく。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
29	経営革新計画承認件数 【H27年度より累計】	75件	52件	61件	117.3%	中小企業の新たなチャレンジを支援するため、産業コーディネーターをはじめとした各支援機関と連携を図っていく。
30	小規模事業者の事業計画策定件数 【R2年度より累計】	555件	90件	133件	147.7%	小規模事業者の新たな取り組みや生産性の向上に向けて、商工会議所や商工会と連携を図っていく。
31	FEG支援センター「エフドア」相談者と事業者、他支援機関とのマッチング件数【R2年度より累計】	120件	20件	35件	175.0%	事業者が求める支援に対し、迅速かつ適切な助言により、マッチングの推進を図っていく。
32	農商工連携製品創出数 【H23年度より累計】	105件	76件	90件	118.4%	事業者マッチングや交流の機会を創出し、新商品開発の機運を高める
33	海外企業の引き合わせ(マッチング)件数【H30年度より累計】	70件	30件	29件	96.6%	海外販路開拓の機会創出と、フォローアップ体制を構築し、効果を高める。
34	農用地利用集積面積 【S55年度より累計】	1,160ha	943ha	951.2ha	100.8%	地域ぐるみでの農地集積・集約化の取組を進めることにより、大規模かつ効率的な営農環境の構築を図っていく。
35	有害鳥獣による農作物被害額	10,300千円	12,825千円	8,112千円	136.7%	引き続き、「鳥獣被害対策実施隊」を中心に、地域住民・部農会と連携した鳥獣被害対策を実施し、農作物への被害軽減を図っていく。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
36	認定新規就農者育成目標数到達率	100%	85.2%	88.9%	104.3%	新規就農を希望する者の研修先が不足しているため、大規模な農業法人等を中心に研修受入先の掘り起こしに取り組んでいく。
37	商店街魅力アップ事業活用件数【R1年度より累計】	65件	22件	26件	118.1%	コロナ禍で商店街イベントが中止せざるを得ない状況が続いたが、市民活動団体の市内店舗を応援する活動などもあり件数が伸びた。アフターコロナを見据えて、商店街や市民活動団体等が新たなイベントや連携した活動を展開するような環境づくりを進める。
38	空き店舗等開業支援事業利用件数【R1年度より累計】	75件	29件	39件	134.4%	利用件数が伸びた一方で、コロナの影響で空き店舗数自体が増加し、空き店舗率も増加に転じてしまっている。利用件数が少ない藤枝宿エリアや岡部宿エリアへの出店について、補助の拡充や物件情報の収集・発信の推進を図る。
39	リカレント教育等受講者数【R2年度より累計】	600人	100人	210	210.0%	実績値は目標値を大きく上回る結果となった一方で、講義を行った大学側から、市内企業人材の受講者の割合が少なかったとの意見があったことから、市内企業への周知の工夫を検討する。
40	高校生対象合同企業説明会参加者数【R2年度より累計】	4,750人	770人	707人	91.8%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、参加者の人数制限等を行ったため目標値には届かなかった。今後は、コロナ禍を踏まえたうえで、会場の確保や参加者の確保に努めていきたい。
41	連携大学から市内企業へ就職した学生数	80人	63人	62人	98.4%	目標値をほぼ達成することができたが、大学毎の偏りが見られることから、市内への就職者数が少ない大学の学生をターゲットに、市内企業とのマッチング施策の推進を図る。
42	労働環境改善事業を活用した施設改善等の事業所数【R1年度より累計】	36事業所	12事業所	14事業所	116.6%	実績値は目標値を上回る結果となった引き続き広報やホームページへの掲載、企業訪問等で制度の周知を図っていく
43	シルバー人材センター登録者数	1,235人	988人	844人	85.4%	会員確保のため、シルバー人材センターと協力し、広報誌等を活用したり、市の主催するシニア就労相談会に参加してもらい、高齢者への周知を図る。
44	福祉施設利用者の一般企業等に就職した人数	21人	17人	11人	64.7%	障害者の就労支援体制の充実に向け、農福連携事業とテレワークオフィス推進事業を活用し、関係機関と連携して取り組んでいく。
45	女性の創業支援者数【H27年度より累計】	785人	486人	476人	97.9%	コロナ禍で3密対策を行いながらの講座開催となっている。受講者の増加を図りつつ、創業者の増加につながる講座内容に見直していく。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
46	個別最適化に向けた実証実験の件数【R2年度より累計】	10件	2件	5件	250.0%	R2年度の内容をさらに拡大・発展させるとともに、スマートシティ形成を見据え、市民の生活に直結したソリューションの実証実験・導入を目指す。
47	フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト参加企業数【H20年度より累計】	75社	65社	83社	127.7%	商品開発の優良事例をはじめとした周知を強化し、参加企業数の増加を図る。
48	企業立地件数【H23年度より累計】	103件	87件	89件	102%	企業訪問等による企業ニーズの把握・対応を進め、県、企業及び金融機関等との連携強化により、オフィスの立地を含めた企業立地を推進する。
49	企業立地優遇制度による設備投資額【H23年度より累計】	577億円	417億円	396億円	94.9%	優遇制度のさらなる活用を促し、企業の初期投資を軽減し、企業立地を推進する。
50	食と農アンテナエリア内農業法人等誘致件数【H30年度より累計】	4件	—	—	—	仮宿町内会内にまちづくり構想を推進する組織が令和3年4月に発足する。今後、地域と市との協議により、ゾーニングなどの検討を進め、まちづくり構想の具体的な取組を推進するとともに、農業法人等の誘致に取り組んでいく。
51	クラウドソーシングを活用した市内企業数	18件	14件	18件	128.5%	藤枝版クラウドソーシング「藤枝くらシェア」の認知向上及び市内企業のさらなる活性化を図るため、キャリアコンサルタントとパートナー契約を締結、共に市内企業を訪問・課題のヒアリングを行った。ヒアリングの中で出てきた課題解消に向けて、対応を行っていく。
52	事業により育成したICT人材と市内企業のマッチング数【R2年度より累計】	50件	10件	7件	70.0%	対面形式での研修やマッチングイベントの開催を予定していたが、コロナ禍の影響により、オンラインに切り替えた。参加者に対するフォローアップが難しく、途中離脱者も出てしまった。今後、個人で学習するだけでなく、集合学習機会の設定やカリキュラム前半から企業との対面の場を設けるなど開催方法について再度検討を行う。

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

③ひとの流れを創る

数値目標	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
年間観光交流客数	257万人	253万人	102万人	40.3%	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光交流客数が激減した。今後もコロナの状況を鑑み近隣市町と連携した国内外への観光PR等を展開し、来訪・交流人口の拡大を図る。
転入者数	4,930人	4,771人	4,395人	92.1%	R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響による、人の流れが鈍化する中においても、目標値の92.1%の実績を確保することができたが、今後の生活様式の変容に対応するまちづくりを進め、企業の誘導、交流人口の拡大などにより、転入増につなげる。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
53	移住支援策を活用した市外からの移住者数【H30年度より累計】	2,520人	1,080人	1,309人	121.2%	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、県等が主催する対面でのイベントに参加するとともに、オンライン移住相談会を継続し、民間企業と連携して移住者のニーズにマッチングする支援を検討する。
54	子育て世代(20～40代)の転入者数	3310人	3205人	2998人	93.5%	新型コロナウイルス感染拡大による生活様式の変化を注視し、高密度な首都圏から地方への移住ニーズに対応するよう検討を行う。
55	県外からの転入者数	1980人	1914人	1689人	88.2%	R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人の流れが鈍化する中で、県外からの転入は限定的となり、結果として目標を達成することができなかった。今後は、新型コロナウイルス感染拡大による生活様式の変化を注視し、高密度な首都圏から地方への移住ニーズに対応するよう検討を行う。
56	本市にかかわりを持った首都圏大学の学生数【H30年度より累計】	200人	77人	56人	72.7%	R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、緊急事態宣言下の首都圏の大学との交流が思うように展開できず、目標値を達成することができなかった。今後は、新型コロナウイルス感染拡大状況を注視しつつ、感染対策を行うことで、首都圏大学(大正大学)の市内でのフィールドワークができるよう積極的に支援を行う。
57	年間宿泊客数	239,500人	237,500人	171,987人	72.4%	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外国人観光交流客数が激減した。今後も静岡空港利用訪日観光客やスポーツ合宿等宿泊への補助制度を国内外へ積極的にPRすると共に、台湾観光PRで関係を築いてきた現地旅行会社と連携し、宿泊増を目指す。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
58	外国人観光交流客数	45,000人	43,000人	569人	1.3%	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外国人観光交流客数が激減した。今後も観光協会や、3市1町や空港周辺近隣町等と連携し、外国人個人旅行者(FIT)をターゲットとした、台湾・韓国等への観光プロモーションを展開する。
59	観光ボランティア案内件数	61件	53人	30件	56.6%	観光ボランティアガイドの高齢化による人材不足が深刻であるため、ガイドメンバーを集めるための「ボランティアガイド養成講座」の開講を検討する。
60	体験型観光プログラム参加者満足度	90%	90%	100%	111.1%	藤枝型まちづくり観光イベントにおける体験型プログラムのブラッシュアップにより、プログラム内容の充実に努めることで、参加者の満足度向上を図る。
61	拠点施設(瀬戸谷温泉と陶芸センター)の利用者数	196,000人	184,000人	120,899人	65.7%	施設間連携を図るとともに、魅力あるイベントの開催や効果的な情報発信を行っていく。
62	国内友好都市交流件数	63件	59件	61件	103.4%	ウイズコロナ、アフターコロナにおいて実施できる事業について、各友好都市の担当者と協議し、施策を検討する。
63	国外姉妹都市等交流件数	21件	17件	3件	17.6%	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していたイベントや交流事業が実施できなかったため、目標値を達成できなかった。 令和3年度より、クリア(自治体国際化協会)に職員を1人派遣することから、他の市町村が海外姉妹都市等とどのような事業を実施しているか等、情報収集を行い、オンライン会談等で議題し、検討していく。
64	街道遺産来訪者数	66,800人	64,800人	54,285人	83.7%	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、東海道の隣接した各歴史文化施設も臨時休館に追い込まれ、誘客をするためのイベント等の開催もほとんどが自粛となってしまう、来訪者の目標値を大きく下回る結果となった。一方、イベント開催時に来場者の連絡先を確認するなど感染症対策を講じることで、事業を実施した事例もあり、今後のコロナ対策を講じたイベント実施の参考とし、事業を推進する。
65	サッカーに携わる人の数 (サッカー協議会登録者数)	3,830人	3,753人	3,328人	88.6%	女子サッカーの競技人数の向上を図るとともに、選手のみならず、指導者や審判員の拡大を図る。
66	女子サッカーの競技人数 (サッカー協会選手登録者数)	230人	215人	270人	125.5%	藤枝なでしこ広場を継続開催し、幼児から小学生年代の女子サッカー選手の増加を図るとともに、中学生年代での活動の場の創出を図る。
67	茶改植等面積	12.7ha	8.7ha	9.3ha	106.8%	引続き、基盤整備を推進し、改植・新植を進めていく。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
68	藤枝ジュニアお茶博士認定数	500人	359人	317人	88.3%	認定数の少ない小学校などに対し、認定講座の案内、活動実績などを積極的に広報していく。 また、R2年度としての認定事業は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できなかったため、R3年度に延期して実施する予定。
69	市ホームページ閲覧数	1,845,000件	1,765,000件	2,766,275件	156.7%	実績値は目標値を大きく上回る結果となった。 新型コロナウイルス情報をはじめとした災害関係情報を市民が求めていることが閲覧数の増加の一因であるため、引き続き市民が求める情報を積極的に発信していく。
70	福祉活動を行う市民団体数	245団体	225団体	193団体	85.7%	R2年度は新型コロナウイルスの影響により登録団体数が減少。(R1年度は224団体登録) 第4次藤枝市地域福祉計画・地域福祉活動計画を基に、地域福祉懇話会などの意見も踏まえながらコロナ禍においても効果的な活動につながるよう継続して周知・啓発及び支援を行う。
71	福祉活動を行う市民の数	4,900人	5,200人	4,359人	83.8%	R2年度は新型コロナウイルスの影響により登録者数が減少。(R1年度は4,922人登録) 第4次藤枝市地域福祉計画・地域福祉活動計画を基に、地域福祉懇話会などの意見も踏まえながらコロナ禍においても効果的な活動につながるよう継続して周知・啓発及び支援を行う。
72	要支援要介護認定を受けていない高齢者の割合	84.6%	84.6%	84.4%	99.7%	広く市民に介護予防への関心を高めるために、地域全体で介護予防に取り組むことができる体制づくりや環境の整備に積極的に支援する必要がある。
73	地域支え合い介護予防教室の数	45カ所	25カ所	23カ所	92.0%	地域課題を生活支援コーディネーターと情報共有を行い、地域によって活動の差をなくすよう取り組みを進める。
74	在宅看取者数 (死因のうち、自殺を除く)	245人	243人	263人	108.2%	中重度者が在宅で療養を継続できるよう医療と介護の連携システムを推進し、住まいでの看取りを支援していく。
75	地域支え合い「出かけっCAR」サービス実施地区	6地区	5地区	5地区	100.0%	実績値は目標値と同じ結果となった 今後、新たな地区の選定に向け地元と協議をしていく。
76	自立相談支援事業利用者の就労件数	75件	50件	75件	150.0%	生活困窮者の様々な相談に応じ、状況把握を行い、個々の状態にあった支援計画を作成し、ハローワークはもちろん、協力企業ともさらに連携し就労支援を行う。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
77	生活困窮世帯の子供の高校進学率	100%	100%	100%	100%	参加者を増加させるため、開講場所の設定や回数等を検討する。
78	市内犯罪発生件数	505件	525件	468件	112.1%	市内犯罪発生件数は減少傾向にあるが、万引きや自転車盗などの身近な犯罪は依然として発生しており、また、高齢者を狙った特殊詐欺事案も後を絶たない状況であるため、引き続き、藤枝警察署や藤枝市自治会連合会を始めとした関係機関と連携した被害防止対策が必要である。

ふじえだ健康都市創生総合戦略KPI管理シート

④ 健やかに暮らし活躍できるまちを創る

数値目標	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
出生数	1,100人	1,024人	897人	87.5%	新型コロナウイルス感染拡大に伴う全国的な出生数の激減と同様に、本市においても大きく減少し、目標値を達成することができなかった。 今後は、コロナ禍の状況に注視しつつ、子育て応援・支援サービスの充実や安心して子育てできる環境づくりに取り組み、目標値の達成を目指す。
婚姻年間届出件数	550件	552件	484件	87.6%	R1年度に大きく増加(586件)したが、R2年度に大きな減少となった。 新型コロナウイルス感染拡大による婚姻延期などの判断の影響があるものと思われるため、感染症収束時の新婚生活のサポートや、出会い結婚のサポートなどの施策の推進を図る。感染収束時の対応について検討を進る。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
79	25歳から34歳までの市民の有配偶者率	45.0%	42.6%	33.1%	77.6%	新型コロナウイルス感染症の影響により、近隣市も含め、婚活イベント等が実施できず、マッチングする機会が極端に減少したため、目標値を達成できなかった。 今後、県が立ち上げる「ふじのくに出会いサポートセンター(仮称)」と連携し、機運醸成のセミナー開催や婚活イベントを開催するとともに、他市町と情報交換する中で、あらたな施策を検討し、広域的な取組を実施する。
80	地域子育て支援拠点(高洲地区交流センター等、市内の地域子育て支援センター14施設)の延べ利用者数	126,000人	150,000人	81,112人	54.0%	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や利用時間の短縮を行ったため目標未達成となった。 引き続き、妊婦や子育て中の親子が気軽に利用することができ、保育士に子育てに関する悩みを気兼ねなく相談できる環境づくりや、「赤ちゃん講座」・「まちの保健室」の開催等により、妊婦や子育て中の親子に寄り添った支援体制の充実に努める。
81	保育所等利用者数	2,920人	2,627人	2,639人	100.4%	第2期藤枝市子ども・子育て支援事業計画(期間:R2~R6)に基づき、計画的な保育定員の拡大を図り、待機児童ゼロを維持していく。
82	放課後児童クラブ利用者数	1,645人	1,398人	1,398人	100%	第2期藤枝市子ども・子育て支援事業計画(期間:R2~R6)に基づき、計画的な定員拡大による待機児童の解消に努め、放課後児童の居場所づくりを推進していく。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
83	乳幼児健診の受診率	100%	100%	98.9%	98.9%	健診の個別通知発送と、未受診者への夜間を含めた訪問や電話連絡をし、受診勧奨や未受診理由把握に努める。
84	不妊治療助成件数	270件	248件	245件	98.7%	不妊治療が保険適用になるまでの期間、夫婦の不妊治療に係る経済的負担の軽減のため、助成要件を拡大する。
85	発達に課題がある児童を支える「サポートファイル」利用者数 【R1年度より累計】	370人	170人	435人	255.8%	実績値は目標値を大きく上回っているため、今後はサポートファイル利用者、関係機関等にアンケート調査を実施し、満足度や改善点を確認する。
86	子どもの居場所(子ども育成支援事業)利用児数	1,200人	960人	584人	60.8%	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として開所日数を減らしたため、開所日以外の日で電話での様子の聞き取り等を実施した。当面は週3日以上の開所、開所日以外の日で電話での様子の聞き取り等の対応を継続するが、併せて、週5日または年間240日以上開催できる体制整備を進めていく。
87	家庭児童(児童虐待・DV等)相談数(実人数)	530人	510人	586人	114.9%	個々の状況に応じたきめ細やかな支援が行えるよう、積極的に研修等に参加し相談支援のスキルアップをはかる。計画的に人材育成を行う。
88	将来の夢や目標を持っている子どもの割合	77.7%	76.9%	0人	0.0%	全国学力・学習状況調査のアンケート結果の数値を利用しており、新型コロナウイルス感染拡大により本調査が中止となったため、実施していない。大学や地域と連携したキャリア教育を中心に、教育活動全体を通して児童生徒が夢や希望をいただけるような取組をすすめるとともに、夢や目標を語れるような学校・学年・学級経営を進めていく。
89	科学教室参加者数	980人	830人	856人	103.1%	ペーパーやPC、工作道具などの教材及び会場に限りがあるため、多人数参加での開催は厳しいが、科学技術に興味・関心を持つ子どものすそ野を更に広げていくため、子どもたちに多彩な選択肢を与えられる取組を展開する。
90	英語で簡単な情報や考えなどを表現したり伝えたりすることができる中学3年生の割合	90.0%	70.0%	0人	0.0%	新型コロナウイルス感染拡大による年度当初の休校期間分の授業数を確保するために、ALTによるインタビューテストの実施を見送った。外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考え等を理解したり表現したりするコミュニケーションを図る資質・能力を授業を通じて育成していく。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
91	児童1人当たりの図書館での年間図書貸出数	25.9冊	24.3冊	20.0冊	82.3%	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、図書館の臨時休館や館内の利用制限を実施したため、利用者が減少した。利用者が安心して図書館を利用できるよう、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、身近で利用しやすい図書館サービスの提供に努める。
92	進んで挨拶ができる子供の割合	97.0%	89.0%	84.9%	95.4%	マナーブックの活用と、日常のあいさつ運動の充実を図り、子どもたちのあいさつへの意識の向上を図る。
93	幼稚園・保育園での親学講座年間受講者数	1,070人	990人	66人	6.6%	新型コロナウイルス感染症の影響により、幼稚園、保育園等から講座開設の申込が減少した。今後は、コロナ対策を入念に講じていることを周知し、講座の内容の充実や幼稚園、保育園のPRを強化する
94	学校が楽しいと感じている子供の割合	92.0%	91.0%	90.1%	99.0%	コロナ禍での学校生活ではあるが、児童生徒が安心して学校に通える体制を整え、どの子どもも充実した学校生活を送れるような学習支援や生徒指導に取り組むよう各教職員に働きかける。
95	給食食材への県内地場産品年間使用率	40.5%	39.3%	40.2%	102.2%	生産者から学校給食センターへの直接納入を引き続き促進する。また、市内産の食材を使用した加工品の創出によりさらなる地産地消を目指す。さらに、栄養教諭による給食時訪問等を通して、地産地消について学ぶ機会を増やし、食育の促進につなげる。
96	放課後子ども教室参加者数	710人	520人	373人	71.7%	新型コロナウイルス感染症により、昨年度より参加者数が減少した。今後はコロナ対策を入念に講じていることを周知し、参加者を募っていく。また、現在開設している教室の継続とともに、地区交流センターや図書館を核とした新たな教室を開設する。
97	「特別支援教育の理解が進み、支援体制の充実が図られている」と回答した割合	51.9%	55.6%	59.3%	106.6%	支援員の増員により、手厚い支援が受けられる環境が整いつつあるため、支援の内容の充実を図る必要がある。学校看護師においても、医療との連携を図りながら、様々な場面に対応できるよう拡充していく。また、本人や保護者の思いを大切にしながら、特別支援学級や通級指導教室の実態にあった設置を進めていく。
98	地区交流センター講座年間受講者数	8,000人	7,520人	3,545人	47.1%	新型コロナウイルス感染防止の観点から前期に一部中止し、開講可能な講座を再構築し実施した。今後、講座のオンライン化など感染対策に対応した講座について研究していく。
99	共同講座の参加大学数	6大学	2大学	0大学	0.0%	R2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、共同講座の開催を中止する判断となったことから、目標値を達成することができなかった。引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大状況を注視する必要があるが、3密回避策を講じるなど、開催に向けた準備に努める。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
100	健康マイレージ達成者数 【H24年度より累計】	5,500人	3,500人	3,301人	94.3%	健康経営ガイドブックの周知や健康経営実践プログラムでの活用など、企業従業員の健康づくりを行うツールとして更なる利活用を促進する。また、協力店の掘り起しにより、インセンティブの強化を図る。
101	保健講座等年間参加者数	5,870人	5,797人	383人	6.6%	コロナ禍において年度当初より活動が中止となってしまった。感染対策を講じ、大勢が集まる従来の実施方法を見直す必要があり、令和2年度より、参加者数ではなく、講座実施回数を徐々に増やす方針に変更した。感染の状況に左右されるが、今後は少しずつ回数を増やしていき、参加者数の底上げをはかっていくこととする。
102	健康経営プロジェクト参加者数 【R1年度より累計】	330人	130人	439人	337.6%	令和2年度に創設した健康経営事業費補助金の活用を促し、健康無関心層と言われる働き盛り世代の健康増進を図る。
103	小中学生の「食事をすることが楽しい」の回答率	65.0%	61.5%	55.1%	89.6%	コロナの感染拡大防止のため、友達と会話をしながら楽しく食事をするのは難しいが、健康的な食のあり方(栄養バランスのよい食事・朝ごはんの重要性等)を考えることで「食の楽しみ」につながる食育授業を、栄養教諭と連携しながら推進していきたい。
104	がん検診受診率	30.0%	28.8%	18.5%	64.2%	コロナ禍において受診控えをした方が増えたからか、R2年度は受診率が下がってしまった。今後は、例年の未受診者勧奨に加え、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを利用し、特に若者世代への勧奨をしていきたい。
105	特定健診受診率	60%	60%	29.7 (暫定値)	49.5%	新型コロナウイルス感染症の影響により、R2年度より完全予約制での実施体制に移行した。R3年度は開催日数を増やすことにより受診率向上にむけて十分な受付枠を用意するとともに、広報ふじえだ等を活用して一層の周知を図る。なお、実績値については現段階では確定値でなく速報値であり、今後人間ドック受診者等の数値を加算することにより変更となる可能性がある。
106	特定保健指導受診率	66.0%	63.0%	77.5%	123.0%	実績値は目標値を上回る結果となった。一方で、健診結果の有所見率で高血圧の割合が増加しているため、訪問や電話での指導に加え、市民への啓発も合わせて実施していく。
107	市立総合病院の正規常勤医師数	130人	115人	122人	106.0%	1人体制となっている診療科を中心に更なる充実を図る

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
108	市立総合病院の看護師数	610人	600人	603人	100.5%	適正な看護師数を確保するため、離職防止に努める
109	総合病院の紹介率	74.5%	72.5%	73.9%	101.9%	各科長との新規を含む紹介患者診療枠の調整、診療所訪問、待ち時間短縮に向けて検討を進める。
110	総合病院の逆紹介率	120.3%	116.3%	115.6%	99.3%	地域の医療機関との連携強化を進めるとともに、逆紹介を計画的に進めていく。
111	市民体育館・市民武道館の年間利用者数	192,000人	184,000人	47,608人	25.8%	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止及び空調機設置工事に伴う一時閉館等の影響で利用者数が大幅に減少した。 指定管理者の民間ノウハウを最大限活かしながら、利用者の利便性向上や効率的・効果的な管理運営を図り、スポーツ施設をより有効に活用することにより、誰もが身近にスポーツに親しむことができる環境づくりに努める。
112	全国大会、国際大会への出場者数	115人	115人	25人	21.7%	令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い各種大会が中止された影響で出場者数が大幅に減少した。 オリンピックなどによるスポーツ教室を開催し、各種競技の普及や競技力の向上に努める。また、小学生世代の選手へのサポート体制を強化するため、スポーツの安全確保に関する講習会など、指導者・保護者向けの座学講座を開催する。
113	静岡県トレーニングセンター及びナショナルトレーニングセンターへの輩出人数	6人	6人	9人	150.0%	藤枝市サッカー協会と連携し、小中学生年代から高校生年代まで、共有された育成ビジョンを持ち、事業を実施する。
114	芸術文化体験事業の新規体験・参加者数【H30年度より累計】	520人	240人	229人	95.4%	実績値は、新型コロナウイルス感染症拡大により、文化体験事業がほとんど中止となったため、目標値を下回る結果となった。 一方で、感染症対策を講じながら規模を縮小して実施した事業もあり、今後のコロナ対策を行う上での参考となった。
115	郷土博物館・文学館の入館者数	143,490人	138,290人	84,972人	61.4%	新型コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言発令により4/18～5/6の期間(19日間)は臨時休館となり、県外への外出自粛や県外在住者の入館制限の影響を受け、実績値は減少した。 コロナ対策への配慮と、近場へ外出する人の流れを来館に結び付けることによる入館者増を両立させる工夫を検討する。
116	ディーセントライフ活動人数	1,040人	960人	683人	71.1%	新型コロナウイルス感染症拡大により、市実施のイベント等の多数が中止となり、活動機会が大幅に減少し、目標値を下回った。 庁内各課のイベントや社会福祉協議会事業へ依頼し、新しい生活様式を実践した藤枝ボランティアの活動機会を提供していく。

NO	KPI名	最終目標値	R2目標値	R2実績値	達成率	今後に向けた改善点
117	市民活動団体数	580団体	560団体	555団体	99.1%	令和元年度に実施した実態調査から見えてきた課題の分析・解決へ向けての団体支援策を検討していく。
118	男女共同参画推進事業所認定数 【H23年度より累計】	43事業所	35事業所	35事業所	100.0%	商工会議所との連携を図るとともに、情報誌や市HPへ認定事業所を掲載することにより、市内中小企業に「推進事業所制度」を啓発し、認定数の拡大を目指す。
119	日本語講座の受講者数	280人	200人	131人	65.5%	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座7回を休講としたため目標値を下回る結果となった。今後は感染症対策を講じながら、多文化共生の実現に向け、広く啓発活動に努めるとともに、関係企業等へも協力を働きかけていく。
120	国際交流イベントへの参加者数	450人	250人	0人	0.0%	本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点からイベントの実施を見合わせた。今後も可能な限り、国際友好協会や近隣市町との、事業・広報連携に努める。